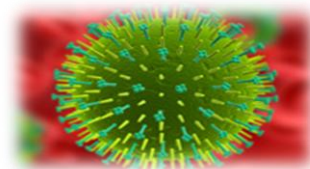


まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療



<インフルエンザウィルス>

インフルエンザを知って予防しよう！

感染管理認定看護師 中島 博美

インフルエンザウィルスは、毎年変異を繰り返しながら流行しています。
インフルエンザについて、4つの対策ポイントをお知らせします。

【①ワクチン接種について】

インフルエンザウィルスは、A型・B型ウィルスの中にも沢山の種類があります。ワクチンはその内の、2種類のA型と2種類のB型が含まれています。

ワクチンについて、WHO（世界保健機構）の専門会議でワクチン推奨株が毎年選定されます。わが国では国立感染症研究所で会議が開催され、流行状況や国民の抗体保有状況などから流行しそうな株を予測し、最終決定されています。

ワクチンは、感染後に生じるウィルス血症に対する免疫を獲得するワクチンであり、発症に対する予防効果はそれほど高くありません。しかし、**重症化を予防**する効果があり、特に65歳以上の入院阻止効果は60%前後という報告が多く、**死亡阻止効果**も認められています。

また、ワクチンの効果には集団免疫があると言われています。具体的には、ワクチン接種率の高い学校においてワクチン未接種の児の罹患する率が低かったという事や、小児のワクチン接種を中止したのちに高齢者死亡率が上昇したという報告があります。

国内流行期が通常12月末から翌年3月頃までなので、これに備えて**11月頃より接種**するのが望ましいです。

【②検査について】

検査の時期が、発熱後12時間以内であればウィルス量が少ないため、感染していても陰性となる確率が高くなります。**発熱後24～48時間**が最もウィルスを検出しやすい時期となり、この期間に検査するのが効果的だといえます。

【③治療について】

インフルエンザのお薬は、48時間以内に開始すると効果が高く、症状を軽くして発熱時間を短くし**重症化を防ぐ**と言われています。

【④予防対策について】

まずは、日頃の**手洗い**、**咳エチケット**を確実に実施することが大切です。
インフルエンザは乾燥に強いウィルスです。

マスク装着することは、ウィルスの飛散を防いだりウィルスがついた手で口や鼻に触れることができなくなるため感染予防にもなります。

※咳エチケット・・・咳・くしゃみの際は、ティッシュなどで、
口や鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れるなど周囲に配慮して下さい。



お知らせ

1. 医師の異動

脳神経外科 松井 利浩医師が9月末日で異動になり
10月1日より 杉浦 智之医師が着任しました。

2. 第9回健康まつりを開催します

いきいき健康まつり！～笑顔でのばそう健康寿命～

日時： 10月29日(土) 12:00～15:00

頸動脈エコー、骨密度測定、フットケア、手術
室見学、白衣体験や消防車・救急車も来るよ
いろいろお楽しみがいっぱい！

医師や看護師による講演もご期待下さい！

※頸動脈エコーは、先着100名様まで(11時半より受付票配布)



3. 10月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： **How to 紙おむつ**

講師： 褥瘡対策チーム

日時： 10月11日(火)、26日(水) 10:00～10:30

場所： 正面玄関ホール 公衆電話前

4. 生活習慣病教室のご案内

テーマ： **食事で上手に血糖コントロール、糖尿病と足病変**

講師： 栄養師、看護師

日時： 10月19日(水) 13:30～15:00

場所： 2階講義室

5. オープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 10月27日(木) 17:30～

場所： 2階講義室

テーマ： **創傷管理**

対象者： 医療職・介護職の方

※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します(当日まで可)

6. 10月は「乳がん月間」です

乳がんは、早期発見・早期治療すれば治癒率が高いがんです。

乳がんになる人は30歳代から増加し始め、50歳代後半の働き盛り世代に多く、若い世代で乳がんを患う女性も少なくありません。

40歳になったら、2年に1回乳がん健診を受けましょう。



きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>